

各保険者代表者 殿

福岡県保健医療介護部介護保険課長
(指 定 係)

高齢者施設及び障がい者支援施設等の職員を対象とした新型コロナウイルス感染症に係る検査事業の実施について

本県の保健医療介護行政の推進につきましては、平素より格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、高齢者施設や障がい者支援施設等の入所者は、新型コロナウイルスに感染した場合、特に重症化リスクが高いため、県では、これらの方と接する可能性がある職員の皆様を幅広く対象とした PCR 検査事業を下記のとおり実施しております。

本事業により、感染していた無症状の職員を速やかに把握し、施設内での感染拡大を未然に防ぐことができた事例もございます。

つきましては、施設内の感染防止対策の強化を図るため、本事業を積極的に御活用くださいますよう貴所管の高齢者施設に対し、周知のほどお願いいたします。

記

- 1 対象施設 福岡県内（北九州市、福岡市及び久留米市を除く）に所在する入所系の
高齢者施設及び障がい者支援施設等

【高齢者施設】

介護老人福祉施設（地密含む）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、
軽費老人ホーム、養護老人ホーム、有料老人ホーム（住宅型、サ高住含む）、
認知症対応型共同生活介護、短期入所生活介護、短期入所療養介護、
小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

- 2 対象者 入所者と接する可能性のある職員
3 受付期間 令和 3 年 3 月下旬まで
4 実施方法等 県から委託を受けた「株式会社ナチュラリ 東京 PCR 衛生検査所」が
事業を実施
5 検査方法 唾液を用いた PCR 検査
6 検査費用 無料
7 その他 実施目的等は別紙参照

問合せ先
福岡県高齢者施設等 PCR 検査相談窓口
0 3 - 6 7 2 1 - 1 5 5 8

Q1. 本事業を実施する目的は何ですか。

A1. 高齢者施設や障がい者支援施設等の入所者は、新型コロナウイルスに感染した場合、特に重症化リスクが高く、施設内感染対策の強化が重要となります。

このため、これらの方と接する可能性がある施設職員を幅広く対象として、一斉・定期的(※)に新型コロナウイルスのPCR検査を実施するものです。

※ 本事業は、検査時点において、施設の職員が感染しているかどうかを確認するために実施するものであり、可能な限りすべての職員が一斉に検査を受けるようにしてください。

※ 検査は、原則として職員1人当たり3回(1施設当たり3回)を上限に受けることができます。このため、施設管理者におかれては、令和3年3月までの間、月1回程度を目安に計画的に検査を行うようにしてください。

Q2. 検査の対象者について教えてください。

A2. 福岡県内(北九州市、福岡市及び久留米市を除く。)に所在する高齢者施設及び障がい者支援施設等(入所系施設に限る。)に勤務し、入所者と接する可能性のある職員を幅広く対象とします。

資格や職種、雇用形態等(正社員、非常勤、嘱託、パート、アルバイト、派遣職員等)は問いません。

委託業者の職員であっても、施設における勤務内容によっては、対象となります。

事業の趣旨に照らし、施設における勤務実態等に応じて該当する方をご判断ください。

ひとりひとりの行動が
福岡を救う。日本を救う。



令和2年12月17日

福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部
(保健医療介護部がん感染症疾病対策課)
担当：山田、杉元
内線：3390、3391 (企画班)
直通：092-643-3609

高齢者施設等の職員を対象とした新型コロナ検査の実施について
～ 12月21日(月)から申込受付を開始します ～

- 高齢者施設や障がい者施設の入所者は、特に重症化リスクが高く、施設内感染対策の強化が重要となります。このため、これらの方と接する可能性がある施設職員の皆さんを幅広く対象として、新型コロナウイルスのPCR検査を実施します。
- 来年3月までの間、職員1人あたり3回を上限に、施設ごとに一斉・定期的な検査を行います。
- 12月21日(月)の9時から、専用サイトで検査申込受付を開始しますので、対象施設の方は積極的に検査を受けていただきますようお願いいたします。

1. 対象施設・対象者 (北九州市、福岡市、久留米市内の施設を除く)
入所系の高齢者施設および障がい者施設の職員
(約2,500施設、最大約9万5千人)
2. 申込受付期間
令和2年12月21日(月)9時から 令和3年3月下旬まで
3. 申込方法
施設ごとに専用サイト上の申込フォームに必要事項を入力
(※専用サイトは対象施設のみに案内)

お問合せ先： 福岡県高齢者施設等PCR検査相談窓口
03-6721-1558

※12月21日(月)9時に開設
※対応時間：9時～17時(平日、土日祝日を含む)
(12月29日(火)～1月3日(日)を除く)

4. 検査方法
唾液を用いたPCR検査
5. 検査費用
無料
6. 検査機関
株式会社ナチュラリ 東京PCR衛生検査所
(東京都港区南青山2-27-27 丸八青山ビル3階)
7. 検査件数
1日あたり約2,000件(最大約4,000件)
8. 検査結果判明までの所要日数
申込日から最短1週間程度で結果判明

高齢者施設及び障がい者施設の職員を対象とした 新型コロナウイルス感染症に係る検査事業

※株式会社ナチュラリは福岡県から委託を受けて本事業を実施しています

- 検査の申込から検査結果報告までの流れ -

1 検査の申込

下記URLもしくは右記のQRコードにアクセスし、施設情報を入力の上、必要な検体採取キット数をお申し込みください。

(申込受付完了のメールが届きます)

[URL]	https://entry.covid19test.jp/fukuoka/
[ID]	pcr
[パスワード]	pcr



※検体採取キットとは、唾液を採取するためのキットです。

※申込フォームにアクセスするためには上記ID及びパスワードが必要です。

※検体採取キットは、1人1キット必要です。(例:28人分申し込みたい場合 ⇒ 28キット)

やむを得ず申込内容を変更・キャンセルする場合は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

[送付先] fukuoka@covid19test.jp [メール件名] 【施設名】 申込内容の変更/キャンセル

2 検査キットの受取、検査に向けた準備

<発送・受取>

申込受付順に検体採取キットを発送します。

発送時に、お届け予定の「ゆうパック伝票番号」、検体の返送・検査結果報告の際に必要な「検体ID・氏名送付票」(Excelファイル)をメールでお送りいたします。

※申込状況によっては、発送までに時間を要することがあります。

<検査に向けた準備>

検体採取キット受領後、同梱の説明書をよくお読みください。

「検体ID・氏名送付票」に検査対象者(受検者)の氏名を入力ください。

裏面に続く➡

3 検査対象者への配布、検体採取

検査対象者（受検者）へ“検体ID”と“氏名”を確認の上、取り違えないように「検体採取キット」「検体採取説明書」「検査同意書」を配布してください。

検査対象者（受検者）は必ず「検体採取説明書」に従い、ご自身で検体を採取してください。

※検体採取キット到着日を含め<5日以内>に検体採取を実施してください。
できるだけ検査対象者全員が同日に行うようにしてください。

※お一人目の検体採取から<2日以内>に必ずご返送（送付）してください。
検体採取から1週間以上経過した場合は、検査ができませんのでご注意ください。

4 検体の返送

<梱包・返送>

同梱している「検体梱包集荷説明書」に必ず従い、梱包してください。

「検体ID・氏名送付票」を1部印刷したもの・署名済みの同意書を輸送容器に同梱して、ゆうパック（着払）の集荷依頼をしてください。

<メールのご連絡>

集荷後、以下の内容をメールにて送付ください。

- ゆうパック伝票番号
- 「検体ID・氏名送付票」必要事項をご入力したExcelデータ
- 梱包済み荷姿の写真データ

【送信先】	fukuoka@covid19test.jp
【メール件名】	【施設名】ゆうパック発送_伝票番号
【添付ファイル】	写真2点、検体ID・氏名送付票

5 検査結果の報告

「検体ID・氏名送付票」にご入力いただいたメールアドレス宛に検査結果をご報告いたします。（PDFデータ添付にて送付します）

お問い合わせ先

株式会社ナチュラリ

東京PCR衛生検査所

(登録衛生検査所 登録番号 2港み生医第387号)

〒107-0062 東京都港区南青山2-27-27 丸八青山ビル3F

☎ 03-6721-1558 / FAX 03-5786-2538

✉ fukuoka@covid19test.jp

検体梱包集荷説明書<ゆうパックをご利用されるお客様向け>

法人向け唾液検体自宅自己採取による新型コロナウイルス PCR スクリーニング検査サービス

本紙は、採取後唾液検体の当検査所への返送方法として、ゆうパックをご利用されるお客様へのご案内です。

ゆうパックは、集荷後の翌日（地域によっては翌々日以降）に当検査所（東京都港区）に到着し、検査結果は、ゆうパックが当検査所に到着した日の翌日に判明する予定です。

採取後唾液検体を返送するにあたり、必ず本ご案内記載に従い、以下の全ての手順を正しく行ってください（末尾の集荷前最終チェック欄もご活用ください）。手順に誤りがある場合や必要な手順が抜けている場合は、検査をお受けできませんので、ご注意ください。

唾液検体採取後の保管とゆうパックでの返送に関するご案内

採取済唾液検体の回収につきまして、以下の手順にて検体の発送をお願い申し上げます。

ゆうパック集荷の予約

検体採取キットがお手元に届き、検体の集荷ご希望日がお決まりになりましたら、郵便局へ集荷予約をしてください。検体採取キットに同梱されており、**ゆうパック着払い伝票**を使用しますので、無くさないように保管をお願いします。

集荷予約の際は、「**検体の集荷（通常便）**」とお伝えください。

- ・電話番号：0800-0800-111（ゆうパック集荷専用受付 / 固定電話・携帯電話ともに無料）
- ・必ず「**検体の集荷（通常便）**」の旨をお伝えください。

※採取後唾液検体の送付は、**ゆうパックのみ利用可能です。（ヤマト便や他の配送業者は使用できません）。**

また、必ずお手元にあるゆうパック着払い伝票をご使用ください。

集荷日時メモ欄

集荷日時	着払い伝票番号（控え）※伝票はお届けのセットに同封されています。
月 日 時 ~ 時	— —

お願い事項

検体採取キットを各検体提供者さまにお渡しになる前、もしくはお渡しになる際に、必ず「**検体 ID・氏名送付票**」にご記入ください。

検査結果報告書

→ 検体 ID のみを印字

「検体 ID・氏名送付票」に検体 ID のみ記載いただき、**当検査所へメール**でお送りいただきますようお願い申し上げます。検体 ID に対応した氏名は検査結果の照会が必要となりますので、必ず貴社にて保管してください。

検査結果報告書

→ 検体 ID および氏名を印字

「検体 ID・氏名送付票」に検体 ID・各検体提供者さま氏名を記載いただき、**当検査所へメール**でお送りいただきますようお願い申し上げます。

※「検体 ID・氏名送付票」は、別途データにて送付させていただいた EXCEL フォーマットです。

(送信先:fukuoka@covid19test.jp)

お届けのセット内容

*国立感染症研究所『2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル』の唾液検体の取扱・輸送に準拠。

セット内容は以下の通りです。

検体採取説明書



検体採取キット



検体採取キットには右記5点が封入されています。

①一次容器（遠沈管）



②保存液



③消毒剤
(アルコールパッド)



④パラフィルム



⑤ジップバック



包装輸送パック

⑥二次容器（バイオパウチ）



⑦三次容器（バイオクールカートン）※1



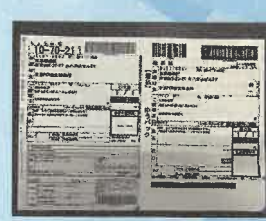
⑧緩衝材



⑨安全性適正包装確認済みシール



⑩着払い伝票



※1 検体数に応じて、大型三次容器（最大 50 検体収納、試験立て発泡スチロール付）または小型三次容器（最大 10 検体収納）が届きます。

基本三重梱包の手順と輸送

1. 一次容器への収納

(検体提供者さま)

①一次容器(遠沈管)に採取した唾液検体(2ml)を採取し、②保存液を入れ、確実に蓋をしてください。唾液検体と保存液が混ざるように、5回ほどよく振った後、容器外側を③消毒剤(アルコールパッド)でふき取ったあと、④パラフィルムでシールしてください。(パラフィルムは引っ張って伸ばすと接着出来ます)⑤ジップパックで包み【図①】、貴社検体送付ご担当者さまへご提出ください。

- ※1 唾液検体を、一次容器(遠沈管)に入れるときに、容器の外側を汚染しないようにご注意ください。
- ※2 保存液が皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で15分以上洗い流してください。皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡してください。
- ※3 液漏れのないように、容器の蓋を確実に閉めてください。
- ※4 蓋をパラフィルムでシールすることで、運搬中の振動による蓋の緩みを防止できるため、必ずお願いします。
- ※5 ジップパック内になるべく空気を入れないよう注意し、ジップパックのジップをしっかりと閉じてください。

(検体送付ご担当者さま)

提出された一次容器(遠沈管)の蓋・ジップパックのジップが閉まっているか、再度ご確認ください。

唾液検体の採取後、検体採取キットは直射日光を避け、室温で保存していただくことが必要です。
高温の場所で保管する場合は、冷蔵庫での保管や、一時的冷蔵保存用として、クーラーボックスと氷(または保冷剤)のご準備をお願いいたします。
以降の手順は、集荷予定時刻の少し前に行ってください。

【図①】



【図②】



【図③】



【図④】



2. 二次容器への収納

<大型三次容器(最大50検体収納、試験立て発泡スチロール付)がお手元にある場合>

ジップパックで包んだ各一次容器(遠沈管)【図①】を試験管立て(発泡スチロール)に立ててください。【図②】全ての検体を収納したことを確認した後に、試験管立て(発泡スチロール)ごと⑥二次容器(バイオパウチ)で包み、確実にシールで閉めてください。【図③】

- ※1 一次容器同士が接触しないように必ず各一次容器をジップパックで包み、試験管立てに立ててください。【図②】
- ※2 二次容器は防漏性で密閉されるので上記以外は何も入れないでください(ドライアイスを入れるのは厳禁です)。【図⑤-A】

<小型三次容器(最大10検体収納)がお手元にある場合>

ジップパックで包んだ各一次容器(遠沈管)【図①】を⑥二次容器(バイオパウチ)で包み、確実にシールで閉めてください。【図④】

- ※1 一次容器同士が接触しないように必ず各一次容器をジップパックで包んでください。
- ※2 二次容器は防漏性で密閉されるので上記以外は何も入れないでください(ドライアイスを入れるのは厳禁です)。【図⑤-B】

4. 三次容器への収納

集荷時間が近づきましたら、二次容器を⑦三次容器(バイオクールカートン)に収納し、以下の手順にて梱包してください。

確実に梱包できたかを確認するため、写真を2枚撮影(下段【写真A】および【写真B】)し、ステップ④の説明に従い、その写真2枚を当検査所へメール(fukuoka@covid19test.jp)でお送りください。

集荷時間までに当検査所から特段のご連絡がない場合は、そのまま集荷に来られた郵便局に差し出してください。大型三次容器【図⑤-A】、小型三次容器【図⑤-B】

【図⑤-A】



【図⑤-B】



ステップ1

検体採取キット以外の誤混入のないことを確認し、スマホ等で写真を撮影します。【写真A】

ステップ2

⑧緩衝材を詰め、⑥二次容器(バイオパウチ)が動かないように固定した上で、⑦三次容器(バイオクールカートン)に収納します。

ステップ3

印刷した「検体ID・氏名送付票」、署名入りの同意書を入れ、⑦三次容器(バイオクールカートン)の蓋を確実に閉めます。同梱の⑨安全性適正包装確認済みシールを外箱に貼り、マジックなどで集荷日を記入します。【写真B】

ステップ4

ステップ①③で撮影した写真④⑥のデータを、当検査所へメールにて送信してください。
◇写真データの送付先:
fukuoka@covid19test.jp
◇メール件名:【施設名】ゆうパック発送_伝票番号

ステップ5

検体採取キットに同封されている⑩ゆうパック着払い伝票に書かれたお名前が間違いないことを確認し、箱の上部に伝票を貼り、集荷が来るのを待ちください。

【写真A】



【写真B】



※安全性適正包装確認済みシール添付位置

画像を添付して
メール送信



※「UN3373」のマークのうち一つは、集荷に際し必ず見えるようにゆうパック着払い伝票お貼りください。

メール例

To: fukuoka@covid19test.jp
件名:【施設名】ゆうパック発送_伝票番号

【写真A】
【写真B】

■集荷前最終チェック欄

- ゆうパックでの集荷予約(検体のため、他の配送方法は不可)
- (ステップ①) 二次容器(バイオパウチ)に入れた状態での撮影(写真A参照)
- (ステップ②) 三次容器(バイオクールカートン)への収納、検体ID・氏名送付票および同意書の同封
- (ステップ③) 【安全性適正包装確認済み】シールの貼り付け、集荷日の記入、撮影(写真B参照)
- (ステップ④) 撮影した写真A④⑥のデータの当検査所へのメール送付
- (ステップ⑤) 【ゆうパック着払い伝票】の確認

5. 集荷について

当郵便局の集荷がきましたら、差し出してください。集荷後、検査結果が出るまで2~3日ほどお待ちください。

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、当検査所までお気軽にお問い合わせください。

登録衛生検査所 登録番号 2 港み生医第 387 号

東京PCR衛生検査所

Tokyo PCR Registered Clinical Laboratory

本社:〒107-0062 東京都港区南青山 2-27-27 丸八青山ビル3F
TEL:03-6721-1558 FAX:03-5786-2538
Mail:fukuoka@covid19test.jp

検体採取説明書<検体提供者さま向け>

室温保管用採取キット

唾液検体自己採取による新型コロナウイルス PCR スクリーニング検査サービス

検体採取キット 内容一覧

*国立感染症研究所『2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル』の唾液検体の取扱・輸送に準拠。
貴社ご担当者さまより、検体採取キットをお受け取りください。

検体採取キット



検体採取キット内容一覧

①一次容器（遠沈管）



②保存液



③消毒剤（アルコールパッド）



④パラフィルム



⑤ジップバック



検体採取方法

注意

検体採取の当日、採取前に食事をした場合は、必ず歯磨きをしてください。
唾液を採取する1時間前から、のど飴やガム、歯磨き粉、喉スプレーなどは使用しないでください。
また、それ以外の飲食も、10分前からは避けてください。

前

① ①一次容器（遠沈管）のキャップを外し、遠沈管本体を片手で持ち口にくわえます。
2ml 程度まで唾液を入れます。



※1 唾液中の泡は量として見なしません。

※2 唾液検体を、①一次容器（遠沈管）に入れるときに、容器の外側に汚染しないようご注意ください。

② ①一次容器（遠沈管）のキャップを開けたまま片手に持ち、②保存液のキャップを開け、②保存液を①一次容器（遠沈管）の中に全て入れます。唾液検体の採取後は、なるべく時間を空けず、すぐに②保存液を入れてください。※保存液が皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で15分以上洗い流してください。皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡してください。



②保存液を入れて、5回ほど振る

③ ①一次容器（遠沈管）を垂直に持ち、蓋をしっかりと閉めます。
その後、①一次容器（遠沈管）を、5回ほど唾液検体と保存液が混ざるようによく振ります。※液漏れのないように、容器の蓋を確実に閉めてください。

④ 容器外側を③消毒剤で拭き取ったあと、④パラフィルムでシールしてください。
（パラフィルムは引っ張って伸ばすと接着出来ます）
※蓋をパラフィルムでシールすることで、運搬中の振動による蓋の緩みを防止できるため、必ずお願いします。



⑤ ⑤ジップバックで包み、ジップをしっかりと閉めてください。
※チャックを閉じる際、ジップバック内になるべく空気を入れないようご注意ください。



注意

後

唾液検体の採取後、検体採取キットは直射日光を避け、室温で保存していただくことが必要です。高温の場所で保管する場合は、冷蔵庫での保管や、一時的冷蔵保存用として、クーラーボックスと氷（または保冷剤）のご準備をお願いいたします。以降の手順は、集荷予定時刻の少し前に行ってください。

登録衛生検査所 登録番号 2 港み生医第 387 号

東京PCR衛生検査所

Tokyo PCR Registered Clinical Laboratory

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 2-27-27 丸八青山ビル 3F

TEL:03-6721-1558 FAX:03-5786-2538

Mail:fukuoka@covid19test.jp